

## 自然と生きる環境生命文明研究会会議への出席について

はげわしの森を守るためにイスラエルのユダヤ教徒、キプロス島のキリスト教徒、パレスチナとトルコのイスラム教徒が植林をしている。

はげわしは中東アラブ世界を回遊する鳥であることから、宗教対立の国々が環境保全で団結しようとしているが、政治情勢から会議ができない状況にある。そこで、日本において宗教を超えた会議の開催を目指しているが、今回はその準備会議である。

この会議に、市長が基調講演者、パネリストとして出席し、コウノトリの取組みを紹介する。

- 1 会議名 自然と生きる環境生命文明研究会 第9回  
「国境を越えて野鳥の保護を(はげわし、コウノトリ)」
- 2 日時 平成20年11月24日(月) 午後1時～
- 3 場所 砂防会館(東京)
- 4 主催 自然と生きる環境生命文明研究会  
代表 片山文彦(東京花園神社宮司)  
実行委員長 安田喜憲よしのり(環境考古学者。国際日本文化センター教授)
- 5 内容  
(1) 基調講演 豊岡市長  
柳生 博(野鳥の会会長)  
(2) シンポジウム 豊岡市長  
ライ・ヤマモリ  
(エコロジスト。現地のはげわし保護活動の中心人物)  
安田喜憲